

■開高健略年譜

- 1930(昭和5)年 12月30日、大阪市天王寺区東平野町に生まれる。
- 1948(昭和23)年 旧制大阪高等学校文科甲類に入学。
- 1949(昭和24)年 学制改革により、大阪市立大学法文学部法学科に入学。
- 1950(昭和25)年 処女作『印象生活』を「市大文芸」に発表。
同人誌「えんぴつ」に加入。
- 1951(昭和26)年 『あかであみ めらんこりあ』を「えんぴつ」解散記念として刊行。
- 1952(昭和27)年 住吉区杉本町の牧羊子の家へ移る。長女道子誕生。
- 1954(昭和29)年 寿屋(現・サントリー)に入社、宣伝部に。
- 1957(昭和32)年 『パニック』を「新日本文学」に発表。一躍新人作家として注目される。
- 1958(昭和33)年 『裸の王様』で第38回芥川賞を受賞。寿屋を退職、嘱託となる。杉並区矢頭町に自宅をかまえる。
- 1959(昭和34)年 『日本三文オペラ』を文藝春秋新社より刊行。
- 1960(昭和35)年 中国訪問日本文学代表团の一員として中国を訪問。
『ロビンソンの末裔』を中央公論社より刊行。
- 1961(昭和36)年 『過去と未来の国々』を岩波書店より刊行。
アイヒマン裁判の傍聴にイスラエルに赴く。
- 1964(昭和39)年 『すばり東京』を朝日新聞社より、『見た 揺れた 笑われた』を筑摩書房より刊行。
朝日新聞社臨時海外特派員としてベトナムへ出発。
- 1965(昭和40)年 戦地取材中、ベトコンに包囲されるが、死地を脱出。
『ベトナム戦記』を朝日新聞社より刊行。
- 1968(昭和43)年 『輝ける闇』を新潮社より刊行、毎日出版文化賞を受賞。
- 1969(昭和44)年 ビアフラ・中東戦争を視察。
- 1971(昭和46)年 『フィッシュ・オン』を朝日新聞社より刊行。
- 1972(昭和47)年 『夏の闇』を新潮社より刊行、文部大臣賞を打診されたが辞退。
- 1974(昭和49)年 茅ヶ崎市東海岸南に仕事場を完成し、移り住む。
- 1978(昭和53)年 『ロマネ・コンティ・一九三五年』を文藝春秋より、『オーバ!』を集英社より刊行。芥川賞選考委員に加わる。
- 1979(昭和54)年 『最後の晚餐』を文藝春秋より刊行。
『玉、砕ける』で川端康成文学賞を受賞。
南北アメリカ大陸縦断旅行。
- 1981(昭和56)年 『もっと遠く!』、『もっと広く!』を朝日新聞社より刊行。
一連のルポルタージュ文学により菊池寛賞を受賞。
- 1983(昭和58)年 『オーバ、オーバ!!』を集英社より刊行。
- 1986(昭和61)年 『耳の物語』を新潮社より刊行、翌年、日本文学大賞を受賞。
- 1989(昭和64・平成元年)年
『珠玉』第三部を脱稿、翌年文藝春秋より刊行。
12月9日、食道腫瘍に肺炎を併発し逝く。
北鎌倉・円覚寺松嶺院に眠る。



茅ヶ崎市 開高健記念館

- 所在地 〒253-0054 茅ヶ崎市東海岸南6-6-64
TEL&FAX 0467-87-0567
 - 開館日 毎週、金・土・日曜日の3日間と祝祭日。
年末年始(12月29日~1月3日)は休館させていただきます。
また展示替え等のため、臨時に休館することがあります。
 - 開館時間 4~10月 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)
11~3月 午前10時~午後5時(入館は午後4時半まで)
 - 入館料 無料
 - 交通 JR茅ヶ崎駅南口より約2km
東海岸北5丁目バス停より約600m
(辻堂駅南口行き 辻02系 辻13系)
- 記念館に駐車場はありません。



茅ヶ崎市 開高健記念館

KAIKO TAKESHI MEMORIAL HOUSE CHIGASAKI

